

電気設備科（短期デュアルコース）（訓練期間6ヶ月）のご案内

- 訓練の概要（訓練により修得できる技能）
- 受講条件
- 職務と仕事内容
- 就職率
- 修了生の主な就職先
- 任意に取得する資格
- 就職後のスキルアップ

訓練の概要（訓練により修得できる技能）

電気設備工事の施工、保守管理及び屋内配線設計ができ、高圧受変電設備の概要、動力設備の基本及びエアコンの据付を習得します。企業実習を通して、施工・保守など実践力を身につけます。

一ヶ月ごとの到達目標

1. 「一般用電気設備工事Ⅰ」



電気工事に使用する工具や材料を知るところから始まり、電線の接続方法、電気図面の見方、電気の保安に関する法規、法令について学び、電気工事に必要な試験方法（絶縁抵抗測定など）やケーブル工事の実習となります。

ケーブル工事とは、電気工事では基本的な工事法です。施工のときの手間が少なく、工具や材料も少なくてすみます。

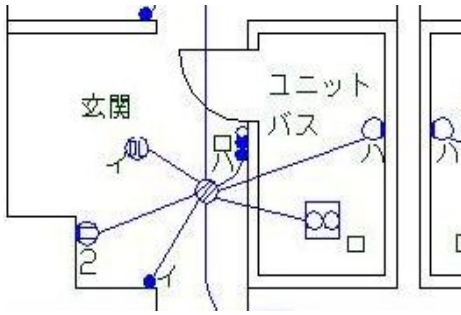
2. 「一般用電気設備工事Ⅱ」



管工事（金属管、合成樹脂管、可とう電線管）、金属線ぴ工事、リモコン配線工事、引き込み口配線工事となります。

リモコン配線とは、複数の照明を一括制御することができる装置で、体育館やオフィスビルなど、多くの照明を使用するところに使われています。また、引き込み口配線工事は、電柱から住宅などの施設に引き込む工事です。電力量計や分電盤の取り付け工事を実習します。

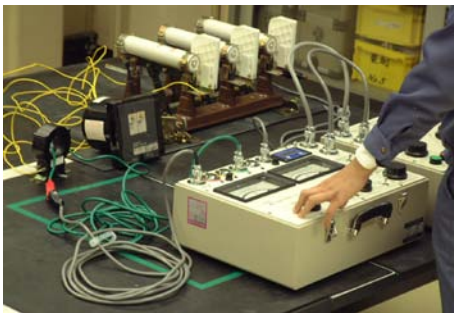
3. 「住宅配線・電気設備 CAD」



ブレーカーの設置に必要な定格電流の値の算出方法、使用する電線の太さの計算、配線図面の設計基準の算出や書き方、仕様を見ながらの住宅配線図を作成していきます。

作成した図面を電気設備CADで製図する学習をし、CAD図面をもとに、実習場にて模擬家屋の施行実習を行います。

4. 「受変電設備・動力配線設備」



受変電設備の作図法・接続法、過電流継電器・地絡継電器等の試験や三相動力の配線、三相誘導電動機の始動方式と操作、過負荷保護装置の取り付けを行います。

5. 「企業実習」

実習予定先企業一覧

羽電気 (株)	(株) 日本総合施設
(株) 霞エンジニアリング	林電気工事 (株)
栗原工業 (株)	福岡電機工業 (株)
桑名電気産業 (株)	富士電設 (株)
JFE 三重テックサービス (株)	北勢電気 (株)
泗水電機 (株)	三重電設 (株)
神電エンジニアリング (株)	守田電気工業 (有)
(株) 鈴鹿テクト	四日市電機 (株)
(株) 鈴鹿電設	
東邦電気工業 (株)	
	(五十音順)

企業へ行き、実際に仕事を体験します。
企業と相性がよければ、施設に戻ってフォローアップ訓練を行って修了後に、その企業へ就職することができます。

6. 「フォローアップ訓練」



冷凍空調の基礎やルームエアコンの仕組みと構成部品を理解し、ルームエアコンの据付と故障診断ができるよう訓練を行います。

6ヶ月間のまとめとして、電気工事の応用配線実習も行います。

ビジネスアプリケーションの活用ということで、文書作成、表計算ソフトの使い方についても学習します。

受講条件

初心者を対象としていますので電気を全く知らない方でも、パソコンを扱ったことがない方でも受講することが出来ます。年齢は概ね 40 歳未満。性別は問いません。

職務と仕事内容

○電気工事作業員

電気照明設備などの配線工事・保守の作業、電気機械装置の据付・保守の作業に従事します。就職するためには、電気工事士の資格が必要な場合があります。

○各種設備工事作業員

受変電設備・空調設備・消防設備・通信設備・計装など設備全般に係わる工事・据付・保守点検の作業に従事します。

○電気工事施工管理

電気工事の実施に対して施工計画、工程管理、品質管理、安全管理等、工事の施工の管理を的確に行うため計画を作成し、現場で管理業務を行います。

就職率

70%（平成 20 年度電気設備科・短期デュアルコース 1 回修了分実績値）

修了生の主な就職先

- ・ (株) 鈴鹿テクト
- ・ 三重電設 (株)
- ・ (有) 山岡電気商会
- ・ 四日市電機 (株)

任意に取得する資格

電気設備科は以下の資格に関連しています。希望者が多い場合は資格試験対策の補習も行っております。

○第二種電気工事士

一般用電気工作物の電気工事の作業に従事することができます

(住宅など 600 ボルト以下の電圧を受電する設備)

○第一種電気工事士

自家用電気工作物のうち、最大電力 500 キロワット未満の需要設備の電気工事ならびに低圧の電気工事の作業に従事することができます

(主に受変電設備の工事ならびに一般住宅の工事)

○第三種電気主任技術者

電圧 5 万ボルト未満の事業用電気工作物 (出力 5 千キロワット以上の発電所を除く。) の工事、維持及び運用の保安の監督を行うことができます。

(主に工場、ビルの保安の監督)

就職後のスキルアップ

就職先企業で相談をしていただき、当施設で行われる事業内援助や能力開発セミナーを受けることで技能・知識の向上を目指し仕事の幅を広げることができます。